



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

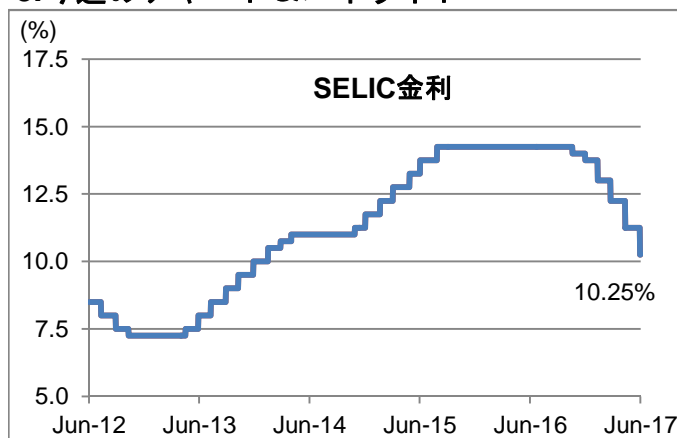
			5月29日	5月30日	5月31日	6月1日	6月2日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2570	3.2580	3.2270	3.2500	3.2460	-0.0040
	BRL/JPY	Spot	34.16	34.03	34.32	34.26	34.00	-0.26
	EUR/USD	Spot	1.1165	1.1188	1.1247	1.1215	1.1279	+0.0064
	USD/JPY	Spot	111.26	110.87	110.75	111.36	110.40	-0.96
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	9.42	9.42	9.36	9.46	9.48	+0.0219
	Future	1Year(p.a.)	9.12	9.22	9.18	9.31	9.36	+0.0482
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.945	1.774	1.910	1.967	2.015	+0.048
	USD	1Year(p.a.)	2.265	2.147	2.195	2.211	2.258	+0.047
株式	Bovespa指数		63,761.00	63,962.27	62,711.47	62,288.52	62,510.70	+222.18
CDS	CDS Brazil 5y		238.14	237.27	236.06	237.07	237.18	+0.11
商品	CRB指数		182.005	181.328	179.772	179.090	177.96	-1.127

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルはテメル大統領を巡る疑惑発覚後の戻りを試し、一時3.21台へ上昇。
- 週初のレアルは3.2610で寄り付いた。29日は米国や英国が祝日による休場だったことで小幅な値動き。30日には最高裁判所が連邦警察によるテメル大統領への事情聴取を許可したと報じられたが市場の反応は限られた。週半ばには大口の資金流入と思いき買いに支えられて高値3.2160まで上昇したが、200日移動平均線では戻り売りが強まり、その後は方向感に乏しい値動きのまま3.2460で越週した。来週以降に重要な政治日程を控える中、市場の予想通りとなったCOPOMや米雇用統計への反応は限定的で、週後半は3.22から3.26でのレンジ内取引が続いた。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.50%から0.49%へ、2018年が2.50%から2.48%へともに下方修正された。インフレ率予想は2017年が3.92%から3.95%へ、2018年は4.34%から4.40%へ上方修正。為替レートは2017年末が3.23から3.25へ、2018年末は3.36から3.37へレアル安方向に修正された。
- 政府は30日、下院で承認済みの労働改革法案について上院経済問題委員会での表決を6月6日まで延期することを決定。上院本会議での表決は6月後半と見られる。
- 31日引け後に発表されたCOPOMでは予想通り前回会合に続いて▲1.00%の利下げを決定し、政策金利を10.25%とした。次回利下げ幅の縮小が示唆されたことでレアルの先物金利はほぼ全ての年限で上昇した。
- 伯仲銀は30日までに5月末期日のドル売りポジションを全てロールオーバーした。これに伴い月末に同ポジションが期日を迎えることによるドル買戻しは発生しなかった。
- 6月1日に発表されたブラジルの2017年第1四半期GDPは前期比+1.0%と2014年第4四半期以来のプラス成長。農業部門が主導、鉱工業や家計も持ち直しつつあり、景気回復を確認する内容となった。

3. 今週のチャート&ハイライト



伯中銀が利下げ幅の縮小を示唆

5月30日、31日に開催されたCOPOMでは、予想通り▲1.00%の利下げを決定した。インフレ動向は引き続き好ましい水準にあるとして2017年末および2018年末のインフレ率を各々4.0%、4.6%と予測。一方、政府による改革の速度が不確かなことをリスク要因と指摘し、今後の見通しは高い不確実性を伴うとした。これらのリスクを踏まえ、次回の7月会合では利下げ幅を縮小させることを示唆。金利先物市場が織り込む次回会合での利下げ幅はやや縮小して▲0.64%の水準(2日時点)となっているほか、今次利下げサイクルにおける政策金利(現在10.25%)の低下は9.00%程度水準までとの見方が増えている。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.20-3.30

来週のレアルは引き続きテメル大統領の進退、および年金改革進展のスケジュールを巡る思惑に左右される展開を見込む。選挙裁判所は来週6日から8日にかけて2014年の大統領選にかかる不正資金疑惑を審理する予定であり、早ければ来週中に判決を下す可能性がある。テメル大統領は判決に対して控訴する権利を有するものの、選挙裁判所の動きを受けた年金改革法案を巡る議会の動向に注意を要する。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE消費者物価指数(月次)	0.01%	-0.05%	0.61%
ブラジル	鉱工業生産(前月比)	0.1%	0.6%	-1.8%
ブラジル	鉱工業生産(前年比)	-5.5%	-4.5%	1.1%
米	非農業部門雇用者数変化	182k	138k	211k
米	失業率	4.4%	4.3%	4.4%
米	平均時給(前月比)	0.2%	0.2%	0.3%
米	労働参加率	62.9%	62.7%	62.9%
米	貿易収支	-\$46.1b	-\$47.6b	-\$43.7b

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	6/5	マーケット・ブラジルPMIコンポジット	May	--	50.4
ブラジル	6/5	マーケット・ブラジルPMIサービス業	May	--	50.3
米	6/5	ISM非製造業景況指数(総合)	May	57.1	57.5
ブラジル	6/6	自動車生産台数(伯自工会)	May	--	191069
ブラジル	6/6	自動車販売台数(伯自工会)	May	--	156894
ブラジル	6/6	自動車輸出(伯自工会)	May	--	58753
ブラジル	6/7	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	May	-0.55%	-1.24%
ブラジル	6/7	FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	May	1.05%	2.74%
ブラジル	6/7	商品価格指数(前年比)	May	--	-5.99%
ブラジル	6/7	商品価格指数(前月比)	May	--	-1.03%
ブラジル	6/8	FGV CPI IPC-S	Jun/07	--	0.52%
ブラジル	6/9	FIPE CPI-週次	Jun/07	-0.03%	0.11%
ブラジル	6/9	IGP-M Inflation 1st Preview	Jun	-0.43%	-0.89%
ブラジル	6/9	IBGEインフレ率IPCA(前月比)	May	0.48%	0.14%
ブラジル	6/9	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	May	3.76%	4.08%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されており、当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。